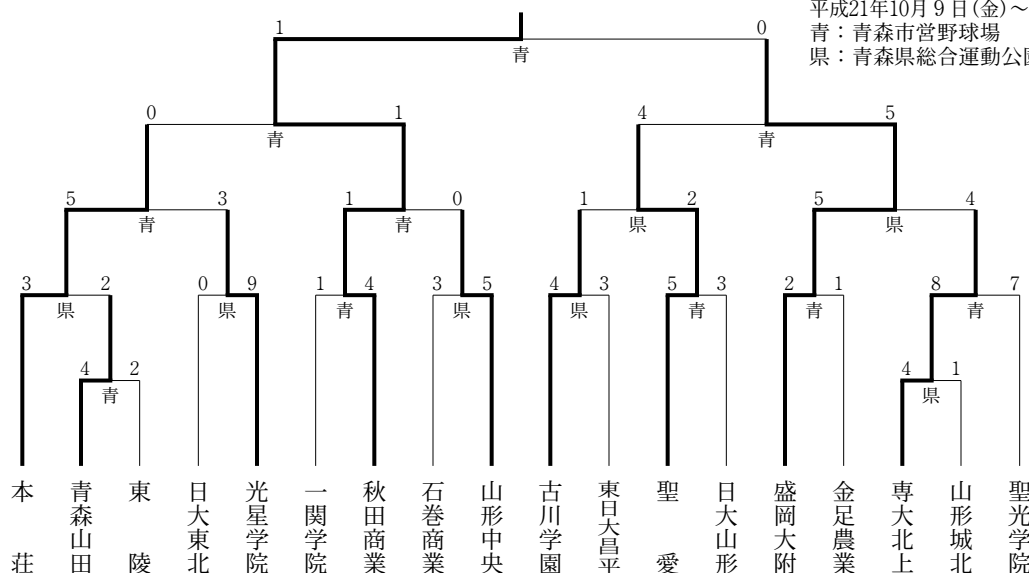


第62回 秋季東北地区高等学校野球大会

平成21年10月9日(金)~14日(水)
 青：青森市営野球場
 県：青森県総合運動公園野球場



2回戦 第1試合 10日(土) 青森市営野球場 (審) 菅原、舟生、千葉、木下

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
一関学院	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
秋田商業	1	1	1	0	0	1	0	0	X	4

二塁打：松橋、鈴木滉、門間、麻生(秋)

	打数	安打	犠打	四死	三振	盗塁	残塁	失策	併殺
一関学院	28	5	3	2	5	0	5	0	0
秋田商業	31	10	3	4	4	1	10	1	0

・バッテリー

一関学院：高橋真(2²/₃)、沼田(6) — 荒木

秋田商業：片岡(9) — 門間

2回戦 第3試合 11日(日) 青森県総合運動公園野球場 (審) 千田、木下、関、千葉

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
本荘	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
青森山田	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2

三塁打：阿部亮(青)

二塁打：茂木(本)

	打数	安打	犠打	四死	三振	盗塁	残塁	失策	併殺
本荘	31	5	2	3	7	0	6	0	0
青森山田	30	6	1	3	8	0	5	4	0

・バッテリー

本荘：岡本(5²/₃)、高橋(3¹/₃) — 遠藤

青森山田：田川(5¹/₃)、藤田(3²/₃) — 木村

2回戦 第7試合 11日(日) 青森市営野球場 (審) 舟生、高木、柴谷、西村

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
金足農業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
盛岡大附	2	0	0	0	0	0	0	0	X	2

三塁打：吉田(金)

二塁打：関谷(金)

	打数	安打	犠打	四死	三振	盗塁	残塁	失策	併殺
金足農業	31	6	0	4	5	0	7	0	0
盛岡大附	28	9	3	6	8	1	11	0	0

・バッテリー

金足農業：秋山(8) — 仲村

盛岡大附：高藤(8)、白石(1) — 佐藤、槻館



(秋田さきがけ 10月12日付)

準々決勝 第1試合 12日(月) 青森市営野球場 (審) 舟生、菅原、小松、千葉

チ ャ ム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
光星学院	0	0	2	0	0	0	0	1	0	3
本 荘	0	5	0	0	0	0	0	0	X	5

二塁打：川上(光)、遠藤(本)

	打数	安打	犠打	四死	三振	盗塁	残塁	失策	併殺
光星学院	31	9	2	1	2	2	4	1	1
本 荘	28	5	1	4	6	1	4	0	2

・バッテリー
光星学院：大浴(8) — 山下 本 荘：高橋(9) — 遠藤

準々決勝 第2試合 12日(月) 青森市営野球場 (審) 上田、千田、最上、藤谷

チ ャ ム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
山形中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田商業	0	0	0	0	0	0	0	0	1x	1

二塁打：佐々木2(秋)

	打数	安打	犠打	四死	三振	盗塁	残塁	失策	併殺
山形中央	31	5	1	0	6	2	5	0	0
秋田商業	31	9	3	2	5	0	9	1	1

・バッテリー
山形中央：横山(8²/₃) — 羽柴 秋田商業：須田(9) — 門間

準決勝 第1試合 13日(火) 青森市営野球場 (審) 千田、藤谷、千葉、三橋

チ ャ ム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
本 荘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田商業	1	0	0	0	0	0	0	0	X	1

二塁打：植田、佐藤修(本)

	打数	安打	犠打	四死	三振	盗塁	残塁	失策	併殺
本 荘	26	4	4	4	9	0	7	0	0
秋田商業	26	5	3	4	7	0	8	0	1

・バッテリー
本 荘：仙波(1²/₃)、岡本(6¹/₃) — 遠藤 秋田商業：片岡(9) — 門間

【本荘―秋田商】秋田商に惜しくも敗れ、肩を落としながらダッグアウトに戻る本荘の選手たち
ち 青森市営野球場
(秋田さきがけ 10月14日付)



決勝戦

14日(水) 青森市営野球場

(審) 木下、松橋、関、菊池

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
盛岡大附	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田商業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1x	1

二塁打：櫻井(盛)、門間(秋)

	打数	安打	犠打	四死	三振	盗塁	残塁	失策	併殺
盛岡大附	36	5	4	1	6	0	8	0	1
秋田商業	35	11	7	4	5	0	13	3	0

・バッテリー
 盛岡大附：高藤(7)、白石(3²/₃) — 槻館
 秋田商業：片岡(11) — 門間

【盛岡大付】	打数	安打	打点	三振	四死
⑦ 佐々木	5	1	0	1	0
④ 櫻井	5	1	0	1	0
⑥ 酒井	4	0	0	0	0
⑧ 1白石	5	1	0	1	0
⑨ 8今上	4	1	0	0	0
③ 小石	3	0	0	1	0
⑤ 川	3	0	0	0	1
② 槻館	3	1	0	0	0
① 高藤	2	0	0	1	0
H 佐宗	1	0	0	1	0
9 鈴木	1	0	0	0	0
	36	5	0	6	1

【秋田商業】	打数	安打	打点	三振	四死
⑥ 麻生	6	2	1	0	0
② 門間	3	3	0	0	1
⑦ 鈴木	4	0	0	1	0
⑧ 鎌田	4	0	0	1	1
⑤ 松橋	4	2	0	0	1
① 片岡	3	0	0	1	0
⑨ 佐々木	5	2	0	1	0
③ 須田	3	1	0	0	1
H 佐藤	1	0	0	1	0
④ 三浦	2	1	0	0	0
	35	11	1	5	4



【盛岡大付—秋田商】 延長11回裏2死二塁、秋田商・麻生の中前打で二走・佐々木がサヨナラのホームイン＝青森市営野球場
 (秋田さきがけ 10月15日付)

帰県の選手から「秘密兵器」

連投片岡「100点」

栄光

4年ぶり度目の優勝
秋田商

七九回のチャンスを打ぎ、投手に甲斐なし」といふ思いが増していた麻生選手は、2年に十一回裏、野戦での打席が回ってきた。死三塁。4球目甘んじたスライディングで決めた。と振り返った。打球はセンター前へ抜けた。速かった点を悔い、優勝を決めた片岡。麻生はカッパース。そして、しやがみんで涙を流した。「今までのことが浮

かんできて」。新型インフルエンザの影響で先に帰った片岡だが、先発・片岡元氣(同)の力投になかなか応えられなかった。

準々決勝からの試合連続で負ける一丁での勝利。スロウボールを多用する片岡。選田(同)の面投手の踏ん張りも原動力となった片岡は、延長に入っても疲れはなかった。あつらひ。「まよふは真つすが伸び、真ん中を押しつけた。決勝でのピッチャーは「100点」と満足した様子だった。片岡をリードした門崎也(同)は、勝利を引寄せた秘

秘密兵器を明かす。それは、吸線を飛ばした仲間から交わってきた携帯メール。要注目者の吉手なゴーストなどのデータを集め、長文のメールを送りこんだのだ。「これ」で、この時にその情報通り、吉手スロー

を投げさせた。助かりました」と涙。青春に輝いた選手と、秋田に帰った選手が一つになって敗れた。太田監督の本在親では、決勝点を奪うタイカリーを放った鎌田(同)は、決勝では麻生に打たれた。「まよふは麻生に打たれていけれど、あつらひに決まると自分チームで決まれば、あな試合展開になった」と言い、「優勝したけ

(秋田さきがけ 10月15日付)



【盛岡大付・秋田商】盛岡大付打線を延長11回完封し、チームを優勝に導いた秋田商の主戦・片岡



そろいの赤いジャンパー、メガホンで秋田商の選手たちに熱いエールを送る父母の会のメンバー

(秋田さきがけ 10月15日付)